

## 都留市の給与・定員管理等について

### 1 総括

#### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

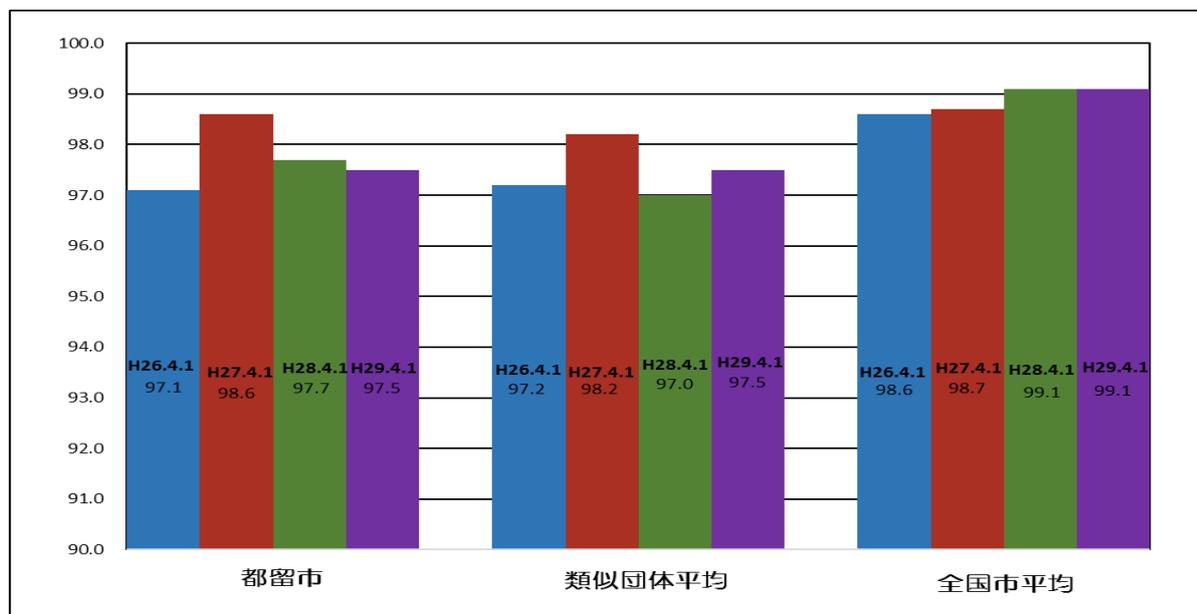
区分	住民基本台帳人口 (29年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)27年度 の人件費率
28年度	人 31,081	千円 13,236,636	千円 628,324	千円 1,880,986	% 14.2	% 14.9

#### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給 与 費				(参考)一人当たり給 与費 B/A	(参考)類似団 体平均一人当 たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
28年度	人 251	千円 755,180	千円 115,612	千円 273,945	千円 1,144,737	千円 4,561	千円 5,727

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
 2 職員数は、28年4月1日現在の人数である。  
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

#### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。  
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

#### (4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

##### ① 給料表の見直し

[ 実施 未実施 ]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日

（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2.0%引下げ。激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。

他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

##### ② 地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

〈該当なし〉

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況 (平成29年4月1日現在)

#### ① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
都留市	42.0歳	295,617円	353,111円	317,989円
山梨県	43.3歳	335,711円	414,651円	376,313円
国	43.6歳	330,531円	—	410,719円
類似団体	42.3歳	315,453円	372,234円	342,674円

#### ② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額(A)	平均給与月額(国ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢	平均給与月額(B)	A/B
都留市	50.2歳	10人	286,390円	310,714円	299,090円	—	—	—	—
うち用務員	58.2歳	2人	287,450円	293,050円	290,700円	用務員	55.1歳	207,300円	1.41
うちその他	48.1歳	8人	286,125円	315,130円	301,188円	—	—	—	—
山梨県	51.9歳	111人	348,939円	398,386円	376,677円	—	—	—	—
国	50.6歳	2,722人	286,833円	—円	328,360円	—	—	—	—
類似団体	50.7歳	19人	295,765円	324,237円	307,786円	—	—	—	—

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
都留市	—	—	—
うち用務員	4,392,635円	2,818,600円	1.56
うちその他	—	—	—

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成26～28年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（平成29年4月1日現在）

区 分		都留市	山梨県	国
一般行政職	大学卒	178,200円	184,800円	178,200円
	高校卒	146,100円	150,500円	146,100円
技能労務職	高校卒	143,500円	153,000円	—
	中学卒	135,500円	136,500円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成29年4月1日現在）

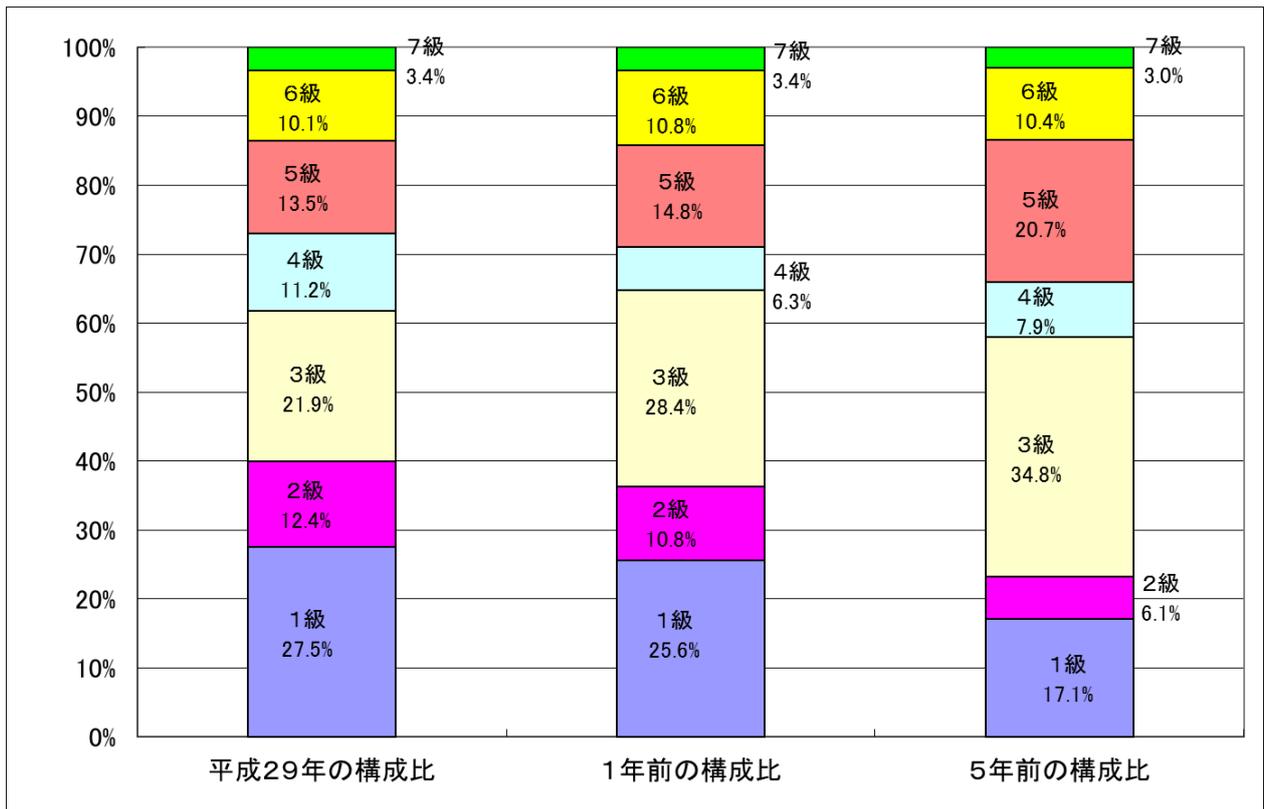
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	271,000円	355,700円	382,700円	400,500円
	高校卒	—	—	354,600円	383,600円
技能労務職	高校卒	—	279,600円	286,800円	289,000円

**3 一般行政職の級別職員数等の状況**

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成29年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の 給料月額	最高号給の 給料月額
7級	部長	6人	3.4%	361,800円	444,100円
6級	課長	18人	10.1%	317,700円	409,400円
5級	主幹・課長補佐	24人	13.5%	287,100円	392,200円
4級	副主幹	20人	11.2%	261,100円	380,200円
3級	主査・副主査	39人	21.9%	227,900円	349,200円
2級	主任	22人	12.4%	191,700円	303,400円
1級	主事	49人	27.5%	141,600円	246,600円

- (注) 1 都留市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への人事評価の活用状況

平成 29 年 4 月 2 日から平成 30 年 4 月 1 日 までにおける運用	管理職員		一般職員	
	イ. 人事評価を活用している			
活用している昇給区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分	昇給可能な 区分	昇給実績が ある区分
上位、標準、下位の区分				
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）				
ロ. 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	平成 32 年度		平成 32 年度	

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

都留市	山梨県	国
1人当たり平均支給額(28年度) 1,293千円	1人当たり平均支給額(28年度) 1,599千円	—
(28年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 (1.45)月分 (0.80)月分	(28年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 (1.45)月分 (0.80)月分	(28年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 (1.45)月分 (0.80)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### ○勤勉手当への人事評価の活用状況(一般行政職)

平成29年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している				
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率				
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ(一律)				
ロ. 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	平成31年度		平成31年度	

##### (2) 退職手当(平成29年4月1日現在)

都留市	国
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 20.445月分 25.55625月分 勤続25年 29.145月分 34.5825月分 勤続35年 41.325月分 49.59月分 最高限度額 49.59月分 49.59月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2～20%加算)	(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 20.445月分 25.55625月分 勤続25年 29.145月分 34.5825月分 勤続35年 41.325月分 49.59月分 最高限度額 49.59月分 49.59月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2～45%加算)
1人当たり平均支給額 3,610千円 20,207千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成28年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 特殊勤務手当（平成 28 年 4 月 1 日現在）

支給実績（28年度決算）			190,004千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（28年度決算）			868円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（28年度）			45.4%	
手当の種類（手当数）			19	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (28年度決算)	左記職員に対する支給 単価
環境手当	環境保全職員	公害物件の除去作業、 犬猫の捕獲並びに浄 化槽の点検作業に従 事	千円 0	日額500円
水道事業事故 待機手当	水道事業職員	勤務を要しない日、休 日及び勤務時間に待 機	千円 360	半日1,000円、1夜（ 午後5時15分から翌 日午前8時30分まで ）1,000円
救急業務手当	消防職員	救急業務に従事（救 急救命士資格者を除 く）	千円 552	1件200円
		救急業務に従事（救急 救命士資格者）	千円 1,257	1件500円
火災出動手当	消防職員	火災の消火作業に従 事	千円 75	1件500円
医師診療手当	市立病院・老健医師	市立病院及び老健に 勤務する医師	千円 101,012	月額200,000円～ 800,000円で市長が 定める額
研究手当	市立病院・老健医師	市立病院及び老健に 勤務する医師	千円 9,650	月額50,000円～ 100,000円で市長が 定める額
薬剤手当	市立病院・老健薬剤師	薬剤の取扱いに従事	千円 588	月額12,000円～ 15,000円で市長が 定める額
看護手当	市立病院・老健看護師、 准看護師	看護業務に従事	千円 15,180	月額15,000円
夜間看護手当	市立病院・老健看護師、 准看護師	深夜において4時間以 上看護業務に従事	千円 37,689	4時間以上4,000円、 2時間以上4時間未 満3,000円、2時間 未満2,200円
放射線取扱手 当	市立病院放射線技師	放射線及び診療エッ クス線取扱い業務に 従事	千円 1,180	月額20,000円
臨床検査手当	市立病院臨床検査技師	臨床検査業務に従事	千円 1,008	月額12,000円
透析作業手当	市立病院臨床工学技師	透析業務に従事	千円 564	月額12,000円

理学・作業療法手当	市立病院・老健理学・作業療法士	理学・作業療法に従事	千円 885	月額15,000円
管理栄養手当	市立病院管理栄養士	市立病院に勤務する 管理栄養士	千円 240	月額10,000円
待機手当	市立病院医師、看護師、 准看護師、技師	勤務を要しない日、休 日及び勤務時間外に 待機	千円 6,288	半日500円、日額 1,000円、準夜800 円、1夜1,500円
介護手当	老健・市立病院介護福祉 士	介護業務に従事	千円 3,117	月額10,000円
夜間介護手当	老健介護福祉士	深夜において介護業 務に従事	千円 9,820	4時間以上3,000円、 2時間以上4時間未 満2,500円
不快手当	市立病院・老健看護師、 准看護師	死後の処置に従事	千円 539	1件1,500円
不快手当	福祉事務所	行旅病人、同死亡人、 変死人処理に従事	千円 0	死亡人1件につき 夜間4,000円、昼間 2,000円

#### (4) 時間外勤務手当

支給実績（28年度決算）	60,946千円
職員1人当たり平均支給年額（28年度決算）	417千円
支給実績（27年度決算）	63,043千円
職員1人当たり平均支給年額（27年度決算）	441千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（27年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

#### (5) その他の手当（平成29年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (28年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (28年度決算)
扶養手当	配偶者13,000円・ 扶養親族1人につ き子9,000円、父母 等6,500円・特定期 間の扶養親族の場 合は、1人につき 5,000円加算・配偶 者が不在場合は、扶 養親族1人目 11,000円	異なる	配偶者（10,000円）、 子（8,000円）、配 偶者が不在場 合は、扶養親 族1人目（子 10,000円、父 母等9,000円 ）	52,301千円	272,400円
住居手当	借家の場合、家 賃が12,000円 を超えたとき支	同じ		27,862千円	296,400円

	給し、家賃に応じて最高27,000円				
通勤手当	交通機関利用の場合、運賃55,000円までは全額支給。自動車等の使用者は通勤距離に応じて支給。5km以下2,900円、5～8km以下4,700円、8～10km以下5,800円、10～12km以下7,000円、12kmを超える場合1kmごとに580円を加算	異なる	自動車使用の場合の距離区分及び支給額 例：5km以下2,000円、10km以下4,200円	22,277千円	62,400円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に54,000円～66,400円を支給（へ給料月額額の10分の418の範囲で支給	同じ		23,483千円	711,600円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務する職員に、勤務1時間について、勤務1時間当たりの給与額100分の25を支給	同じ		17,766千円	126,000円

## 5 特別職の報酬等の状況（平成29年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額 等	
給 料	市 区 町 村 長	754,400円 ( 770,800円)	(参考) 類似団体における最高/最低額 980,000円 / 430,000円	
	副 市 町 村 長	601,600円 ( 608,000円)	804,000円 / 512,000円	
報 酬	議 長	380,000円 ( 円)	528,000円 / 327,000円	
	副 議 長	355,000円 ( 円)	462,000円 / 279,000円	
	議 員	345,000円 ( 円)	431,000円 / 259,000円	
期 末 手 当	市 区 町 村 長 副 市 町 村 長	(28年度支給割合) 4.20月分		
	議 長 副 議 長 議 員	(28年度支給割合) 3.30月分		
退 職 手 当	市 区 町 村 長 副 市 町 村 長	(算定方式) 給料月額×勤務月数×42/100 給料月額×勤務月数×25/100	(1期の手当額) 15,208,704円 7,219,200円	(支給時期) 退職時 退職時
	備 考			

- (注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。  
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

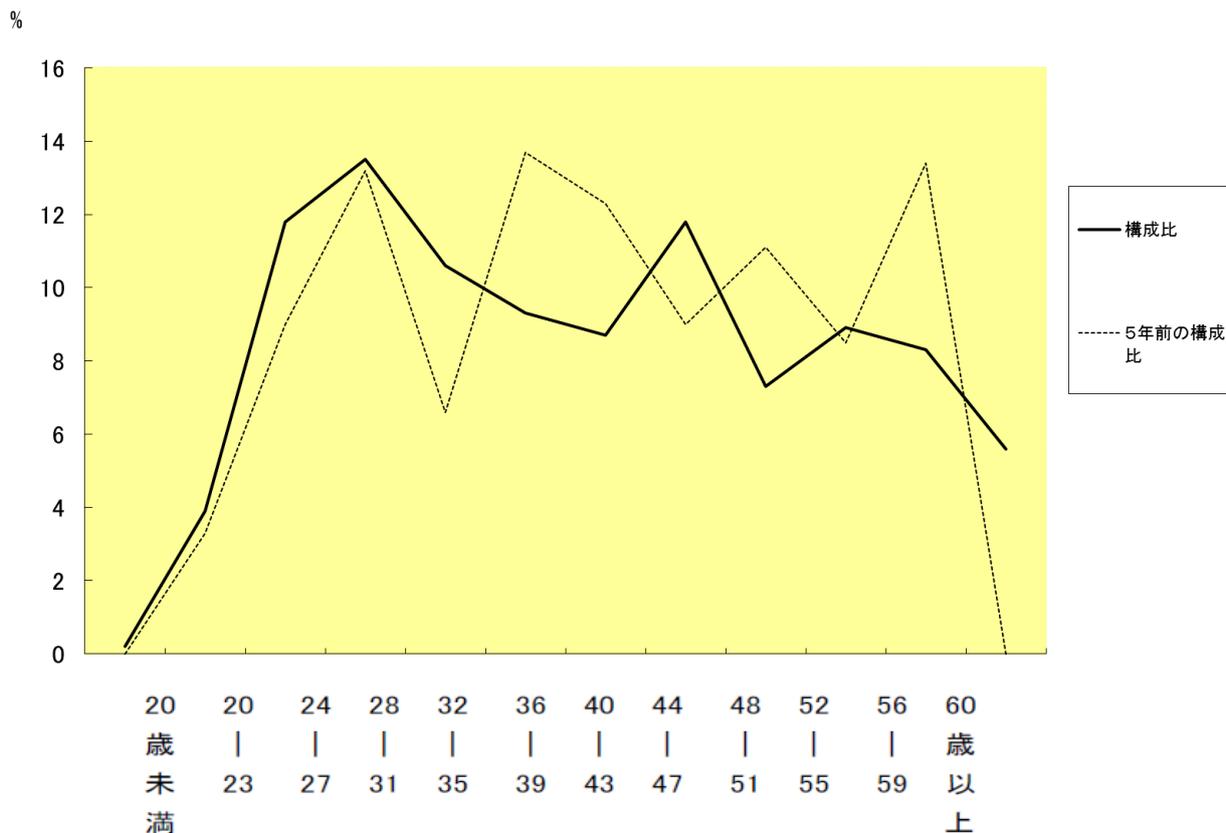
(各年4月1日現在)

部 門		区 分	職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
			平成28年	平成29年		
普 通 会 計	一 般 行 政 部 門	議 会	4	4		
		総 務 企 画	58	64	6	派遣職員の増等
		税 務	19	20	1	専門職員の配置
		民 生	19	20	1	
		衛 生	19	19		
部 門	農 林 水 産 商 工 土 木	農 林 水 産	7	5	△2	事務事業の見直し等
		商 工	5	6	1	
		土 木	15	15		
		計	146	153	7	<参考> 人口1万人当たり職員数 49.23人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 62.70人)
部 門	教 育 部 門		48	50	2	派遣職員の増等
	消 防 部 門		57	58	1	
	小 計		251	261	10	<参考> 人口1万人当たり職員数 83.97人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 81.58人)
公 営 企 業 計 等 部 門	病 院		179	190	11	産科再開対応
	水 道		11	10	△1	事務事業の見直し等
	下 水 道 そ の 他		3 18	3 18		
	小 計		211	221	10	
合 計			462	482	20	<参考> 人口1万人当たり職員数 155.08人
			[ 501 ]	[ 501 ]	[ ]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 [ ]内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成29年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	1人	19人	57人	65人	51人	45人	42人	57人	35人	43人	40人	27人	482人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別 \ 年度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	128	128	130	143	146	153	25(19.5%)
教育	47	45	45	45	48	50	3(6.4%)
消防	52	53	56	57	57	58	6(11.5%)
普通会計計	227	226	231	245	251	261	34(14.9%)
公営企業等会計計	198	195	194	205	211	221	23(11.6%)
総合計	425	421	425	449	462	482	57(13.4%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

## 7 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 27年度の総費用に占 める職員給与費比率
28年度	千円 289,147	千円 42,158	千円 49,960	% 17.3	% 22.0

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費〇千円を含まない。

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)都留 市平均一人 あたり給与 費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
28年度	人 10	千円 37,421	千円 5,123	千円 7,416	千円 49,960	千円 4,996	千円 4,561

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。  
2 職員数は、29年3月31日現在の人数である。

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（平成28年4月1日現在）

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
都留市	42.6歳	311,842円	416,333円
団体平均	44.4歳	343,701円	513,093円

（注） 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

都留市公営企業職		都留市一般行政職	
1人当たり平均支給額（28年度） 742千円		1人当たり平均支給額（28年度） 1,293千円	
（28年度支給割合） 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 （1.45）月分 （0.80）月分		（28年度支給割合） 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 （1.45）月分 （0.80）月分	
（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%		（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	

（注） （ ）内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（平成29年4月1日現在）

都留市公営企業職			都留市一般行政職		
（支給率）	自己都合	応募認定・定年	（支給率）	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～20%加算）			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2～20%加算）		
1人当たり平均支給額 — —			1人当たり平均支給額 3,610千円 20,207千円		

（注） 退職手当の1人当たり平均支給額は、○年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 特殊勤務手当（平成29年4月1日現在）

支給実績（28年度決算）		252千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（28年度決算）		42,000円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（28年度）		60.0%		
手当の種類（手当数）		1		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 （28年度決算）	左記職員に対する支給 単価
水道事業事故 待機手当	水道事業職員	勤務を要しない日、休日及び勤務時間に待機	千円 252	半日1,000円、1夜（午後5時15分から翌日午前8時30分まで）1,000円

エ 時間外勤務手当

支給実績（28年度決算）	2,582千円
職員1人当たり平均支給年額 （28年度決算）	323千円
支給実績（27年度決算）	4,163千円
職員1人当たり平均支給年額 （27年度決算）	378千円

- （注） 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。
- 2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（28年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

オ その他の手当（平成29年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異動	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 （28年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額 （28年度決算）
扶養手当	一般行職と同じ	同じ		1,758千円	351,600円
住居手当	〃	同じ		857千円	285,600円
通勤手当	〃	同じ		286千円	40,800円
管理職手当	〃	同じ		648千円	648,000円